

## 第1回定例会 代表質問から

### ICT技術の導入について 農業における



山本 正信  
会派みどり

**問** 前田市政がスタートして10年が経過した。厳しい財政状況の中、困難なかじ取りだったと推察する。可能な限り公約の実現に向けての考えを伺う。また、併せてコロナ対策について伺う。

**答弁** 3期目の公約であるイレブン・プラス・ワンの進捗については、農村環境改善センター改修、民間事業者のノウハウを生かした滝川キャンプサイトの事業展開など、着実に公約実現が図られていると考えています。残りの任期では、官民連携による地域活性化やふるさと納税の魅力向上による財源確保に努めるとともに、市立病院の経営改善や財政健全化を着実に進め、また、文化センターなどの公共施設の方向性を示していくことにも注力していきます。

アフターコロナを見据え、各種経済対策を進めるとともに、新築住宅費用の一部助成実施に向け検討を進めるなど、公

約実現と総合計画達成に職員一丸となって取り組んでいきます。

**問** 市内農業経営の人手不足対策としてICT技術導入拡大の現状について伺う。また、農業は地域経済を支える産業だが、例えば十勝型の大規模複合やJAによる農産物加工を通じて雇用創出などを当市でも目指すべきと思うが考えを伺う。

**答弁** ICTの導入は滝川市ICT農業利活用協議会が設立され、「産地営農体系革新計画」に基づきガイダンスシステム、自動操舵システムなどの活用拡大が進んでいます。将来の展望については、本市は水稻を基幹作物とする「米の産地」であることから、高品質な米の生産やブランド化を推進することで、地域経済発展へつながるよう農業団体と連携し、検討していきます。

### ふるさと納税返礼品の 商品開発について



堀 重雄  
公明党

**問** 市立病院の看護師確保対策として、具体的な取り組みについて伺う。

**答弁** 令和元年度から医療技術職や薬剤師などが看護師業務の一部を担うタスクシフトの取り組みや防疫業務手当の創設、コロナウイルス感染症の濃厚接触者に該当した場合の特別休暇の運用等を行っています。さらに、公務災害などによるコロナウイルス感染症り患に対する上乗せ給付への加入も行いました。院内保育所の定員拡充などにも取り組んでいます。

**問** 第2期財政健全化計画を進めるにあたり、職員から行財政改革に対する考えや意見をレポートで提出してもらい、改革に取り組む考えについて伺う。

**答弁** 職員からの意見を取り入れて効率的な組織を目指すためには、一つの方法であると考えます。様々な効率化のアイデアを活かすことができるよう職員の声をボトムアップして取り組んでいきます。

**問** ふるさと納税の返礼品の開発は、将来に向けて重要な課題である。地場産業の活性化を推進し、寄付額の増加につなげる具体的な取り組みを伺う。

**答弁** 常時返礼品出品事業者とコンタクトをとって新商品開発を打診しています。近年の傾向としては何か月連続お届けといった頒布会形式の返礼品の人気が高い傾向となっています。

また、コロナ禍において「巣ごもり需要」に対応した商品の開発にも取り組んで行かなければならないと考えています。今後も寄付者のニーズに沿った新商品開発を続け、地元特産品のPRを積極的に行い、寄付額の増加に向けて取り組んでいきます。

